

八千代市まち・ひと・しごと創生に関する 市民満足度調査

報 告 書

平成 30 年 3 月



目 次

第1章	調査の概要	1
1.	調査の目的	3
2.	調査の設計	3
3.	回収状況	3
4.	報告書を読む際の留意点	3
5.	標本誤差	4
6.	居住地域	5
第2章	調査結果の分析	3
1.	調査対象者の属性	9
2.	八千代市まち・ひと・しごと創生に関する市民満足度調査結果	11
第3章	調査票	33

第 1 章 調査の概要

1. 調査の目的

将来の人口減少対策として、今後市が重点的に取り組むべき政策目標・施策を示す「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づける各事業に関連して、市民の満足度を把握することを目的に実施する。

2. 調査の設計

調査対象 : 市内に在住の18歳以上の男女
 調査標本 : 3,000名を抽出し、最終的に2,994人を調査標本とした
 抽出方法 : 住民基本台帳より実際の年齢、性別、地域の人口割合に近い値となるように抽出した
 調査方法 : 郵送による配布・回収
 調査期間 : 平成30年1月22日～2月8日

3. 回収状況

標本数	有効回収数	有効回収率
2,994	1,103	36.8%

4. 報告書を読む際の留意点

- 集計は、小数第2位を四捨五入して算出しているため、数値の合計が100.0%にならない場合があります。
- 基数となる実数は、「n」として表示しています。
- 回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中ではふれていない場合があります。
- 統計数値を考察するにあたっての表現はおおむね以下の通りです。

例	表現
17.0～19.9%	約2割
20.0～20.9%	2割
21.0～22.9%	2割を超える
23.0～26.9%	2割台半ば
27.0～29.9%	約3割

5. 標本誤差

標本誤差は次の式で得られ、①比率算出の基数（n）、②回答の比率（p）によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N = 母集団数（八千代市の18歳以上人口）
 n = 比率算出の基数（回答者数）
 p = 回答の比率（%）

今回の調査結果の標本誤差は下記のようなになる。

回答比率(p) n	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
1,103	±1.81%	±2.41%	±2.76%	±2.95%	±3.01%
1,000	±1.90%	±2.53%	±2.90%	±3.10%	±3.16%
800	±2.12%	±2.83%	±3.24%	±3.46%	±3.54%
600	±2.45%	±3.27%	±3.74%	±4.00%	±4.08%
400	±3.00%	±4.00%	±4.58%	±4.90%	±5.00%
200	±4.24%	±5.66%	±6.48%	±6.93%	±7.07%
100	±6.00%	±8.00%	±9.17%	±9.80%	±10.00%

※ 上表は $\frac{N-n}{N-1} = 1$ として算出している。なお、この表の計算式の信頼度は95%である。

注／この表の見方

標本誤差とは、今回のように全体（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査においては、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことをいう。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、その誤差を数学的に計算することが可能である。その計算式を今回の調査に当てはめて算出したのが、上記の表である。見方としては、例えば、「ある設問の回答数が1,103であり、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.95%以内（57.05～62.95%）である」とみることができる。

6. 居住地域

居住地域別のクロス集計は、『八千代市地域コミュニティ推進計画』を参考にし、次のように集約して分析の軸としている。

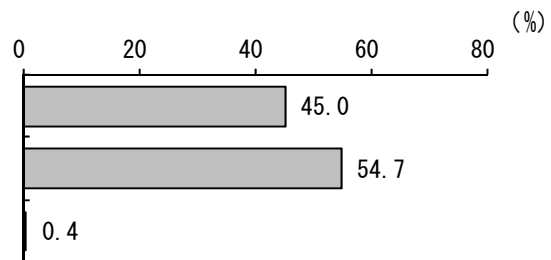
居住地区名		集約後の居住地域
大和田地区	}	大和田地域
ゆりのき台地区		
大和田新田(A)地区		
大和田新田(B)地区	}	高津・緑が丘地域
高津・緑が丘地区		
高津団地地区		
八千代台東南地区	}	八千代台地域
八千代台西北地区		
勝田台地区		勝田台地域
村上地区	}	村上地域
村上団地地区		
阿蘇地区	}	阿蘇地域
米本団地地区		
睦地区		睦地域

第2章 調査結果の分析

1. 調査対象者の属性

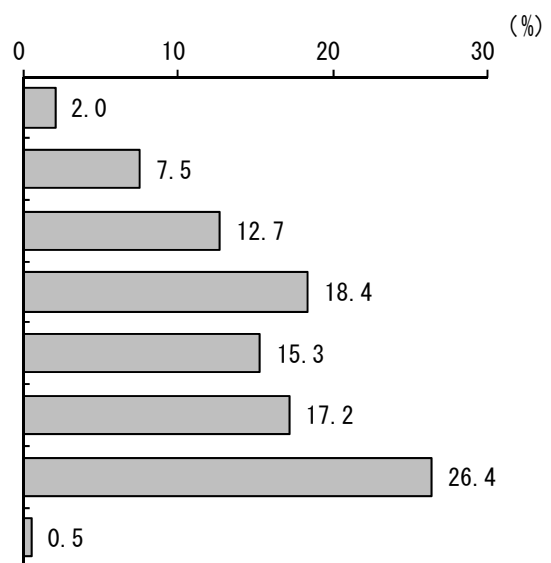
(1) 性別

	n	構成比
男	496	45.0%
女	603	54.7%
無回答	4	0.4%
全 体	1,103	100.0%



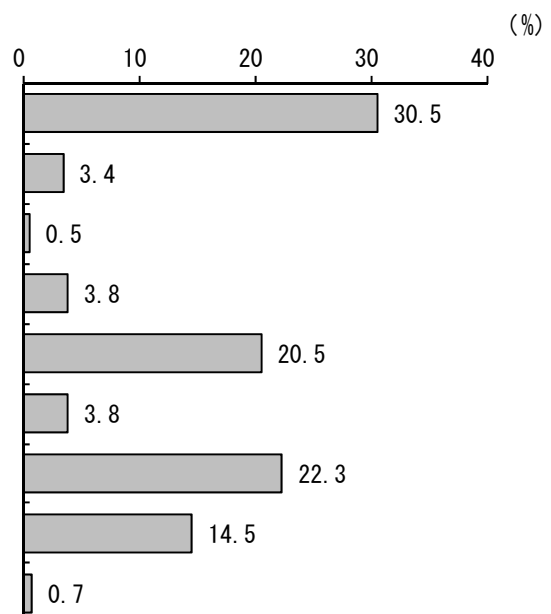
(2) 年齢

	n	構成比
18～19歳	22	2.0%
20～29歳	83	7.5%
30～39歳	140	12.7%
40～49歳	203	18.4%
50～59歳	169	15.3%
60～69歳	190	17.2%
70歳以上	291	26.4%
無回答	5	0.5%
全 体	1,103	100.0%

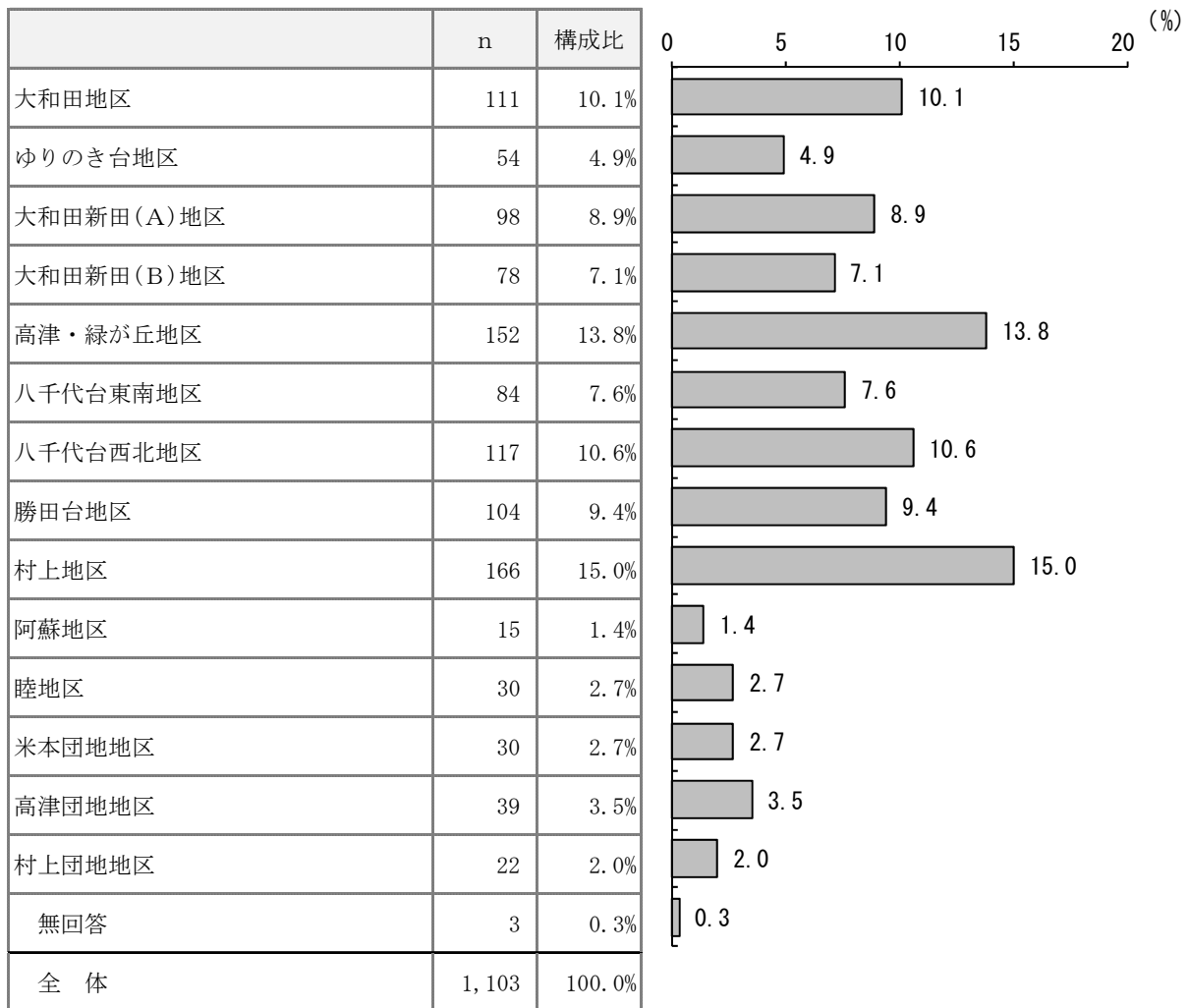


(3) 職業

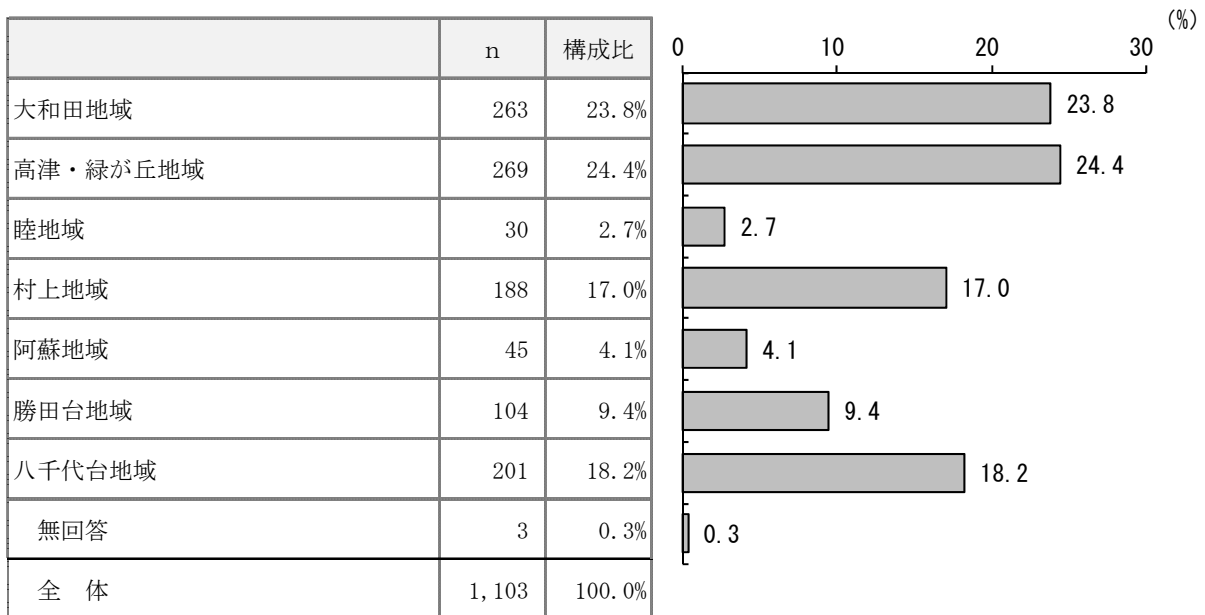
	n	構成比
会社員	336	30.5%
自営業	38	3.4%
農業	5	0.5%
公務員	42	3.8%
専業主婦または主夫	226	20.5%
学生	42	3.8%
無職	246	22.3%
その他	160	14.5%
無回答	8	0.7%
全 体	1,103	100.0%



(4) 居住地区

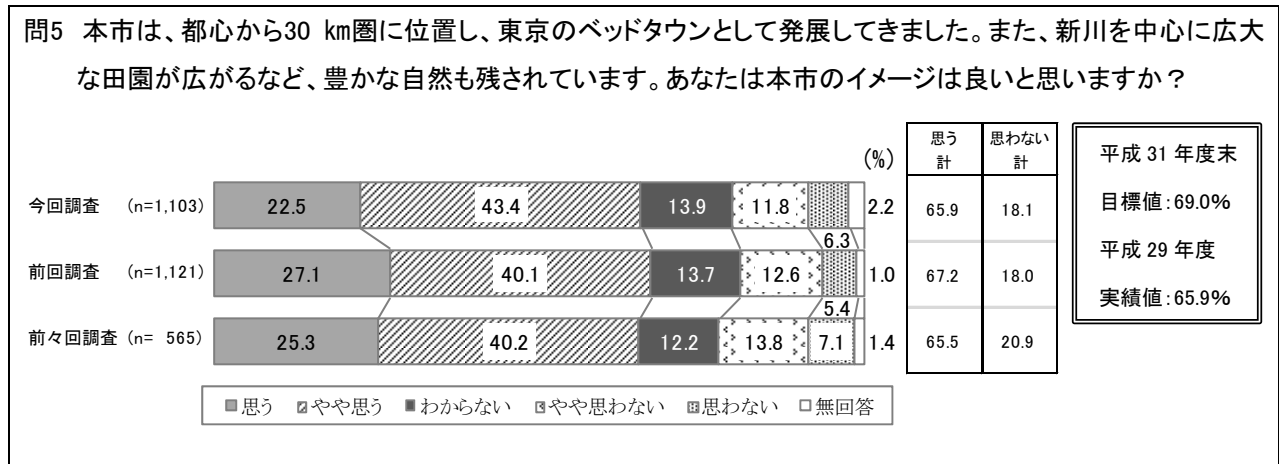


【(再掲) 7 地域】



2. 八千代市まち・ひと・しごと創生に関する市民満足度調査結果

(1) 「八千代市のイメージ」について



本市のイメージが良いと思うかについては、「思う」(22.5%)と「やや思う」(43.4%)を合わせた<思う 計>は65.9%となっています。

前回調査と比較してみると、<思う 計>は前回調査より1.3ポイント減少しています。

平成31年度末までの目標値69.0%に対して、平成29年度の実績値は65.9%であり、今回調査の達成率は95.5%となっています。

[第2章 調査結果の分析]

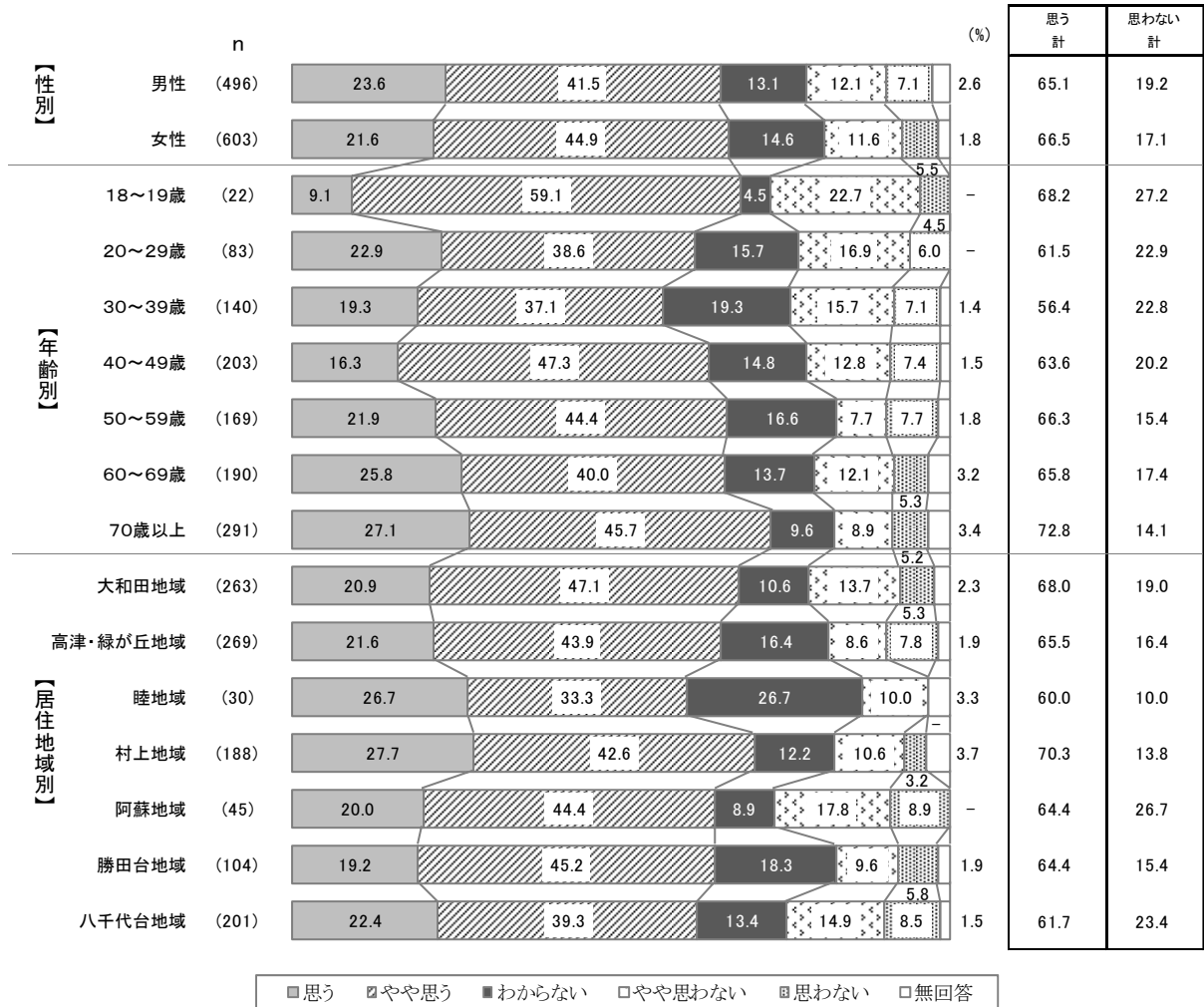
性別では大きな差はみられません。

年齢別にみると、〈思う 計〉の割合は70歳以上で7割を超えて多くなっている一方で、30～39歳では5割台半ばとなっています。

居住地域別にみると、〈思う 計〉の割合は村上地域で70.3%と最も多くなっています。

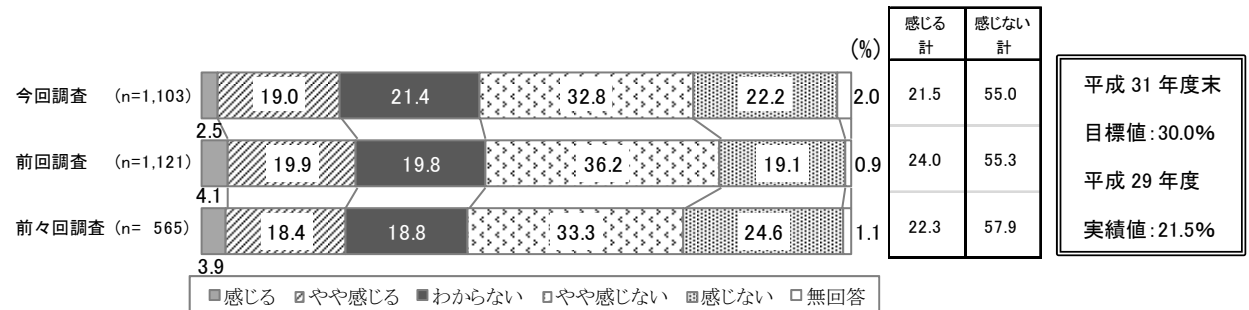
一方、〈思わない 計〉の割合は阿蘇地域、八千代台地域で共に2割台半ばとなっています。

■性別/年齢別/居住地域別



(2) 「八千代市の活性化」について

問6 まちの活性化のためには、「地域コミュニティの活性化」、「地域の産業の活性化」「地域の観光の活性化」などが必要ですが、本市は現在、まちが活性化していると感じますか？



まちが活性化していると感じるかについては、「やや感じない」(32.8%)と「感じない」(22.2%)を合わせた<感じない 計>が55.0%と半数を超えています。

前回調査と比較してみると、<感じない 計>は前回調査(55.3%)とほぼ変化はありません。平成31年度末までの目標値30.0%に対して、平成29年度の実績値は21.5%であり、今回調査の達成率は71.7%となっています。

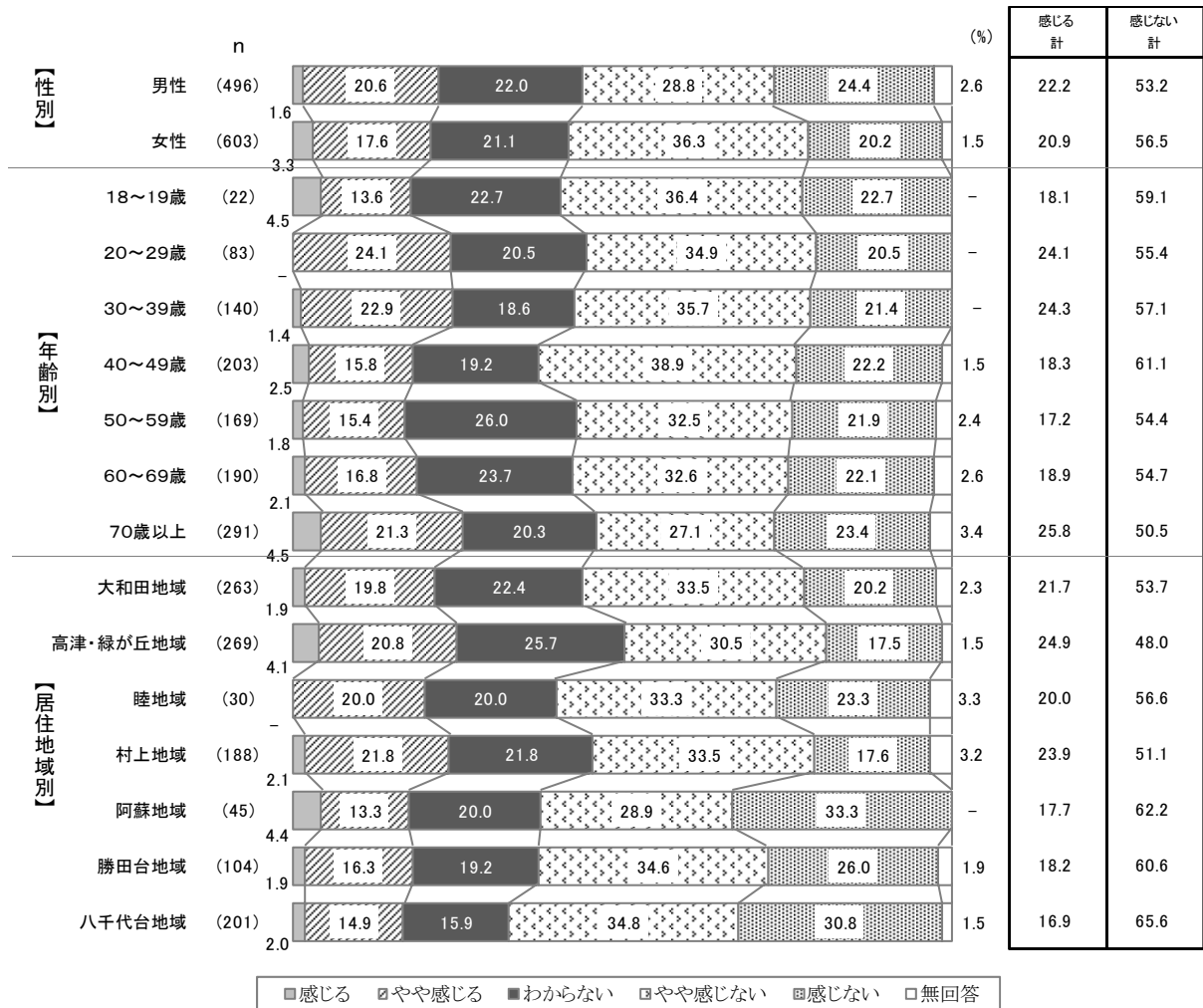
[第2章 調査結果の分析]

性別にみると、〈感じない 計〉の割合は女性（56.5%）が男性（53.2%）を3.3ポイント上回っています。

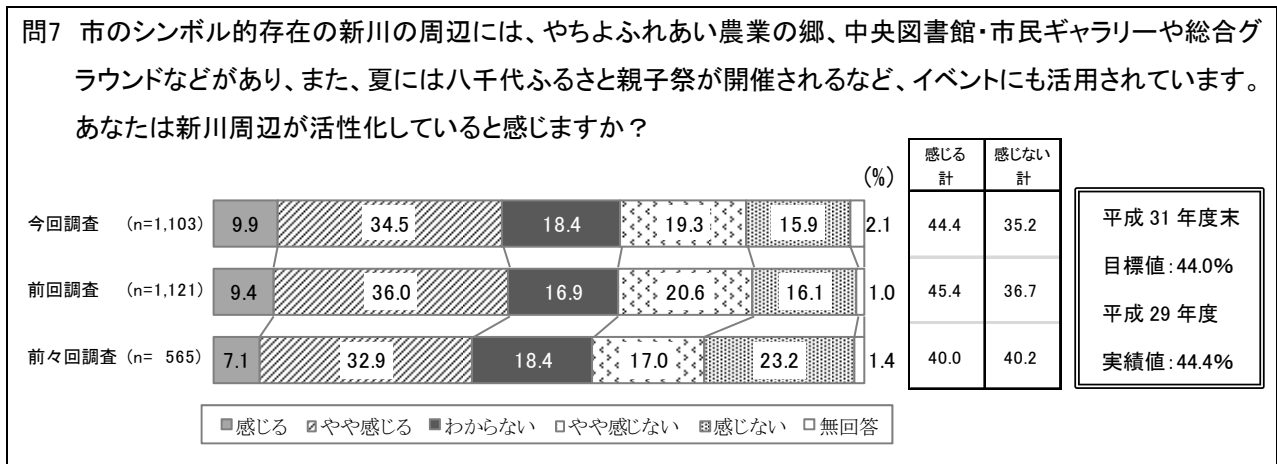
年齢別にみると、〈感じない 計〉の割合は40～49歳で6割を超えて最も多くなっており、一方、〈感じる 計〉では、20～39歳と70歳以上が他の年代よりも多くなっています。

居住地域別にみると、〈感じない 計〉の割合は八千代台地域、阿蘇地域、勝田台地域で6割以上と多くなっており、〈感じる 計〉の割合は、高津・緑が丘地域、村上地域で他の地域よりも多くなっています。

■性別/年齢別/居住地域別



(3) 「新川周辺の活性化」について



新川周辺が活性化していると感じるかについては、「感じる」(9.9%)と「やや感じる」(34.5%)を合わせた<感じる 計>(44.4%)が「やや感じない」(19.3%)と「感じない」(15.9%)を合わせた<感じない 計>(35.2%)を9.2ポイント上回っています。

前回調査と比較してみると、<感じる 計>は前回調査より1.0ポイント減少、<感じない 計>は1.5ポイント減少しています。

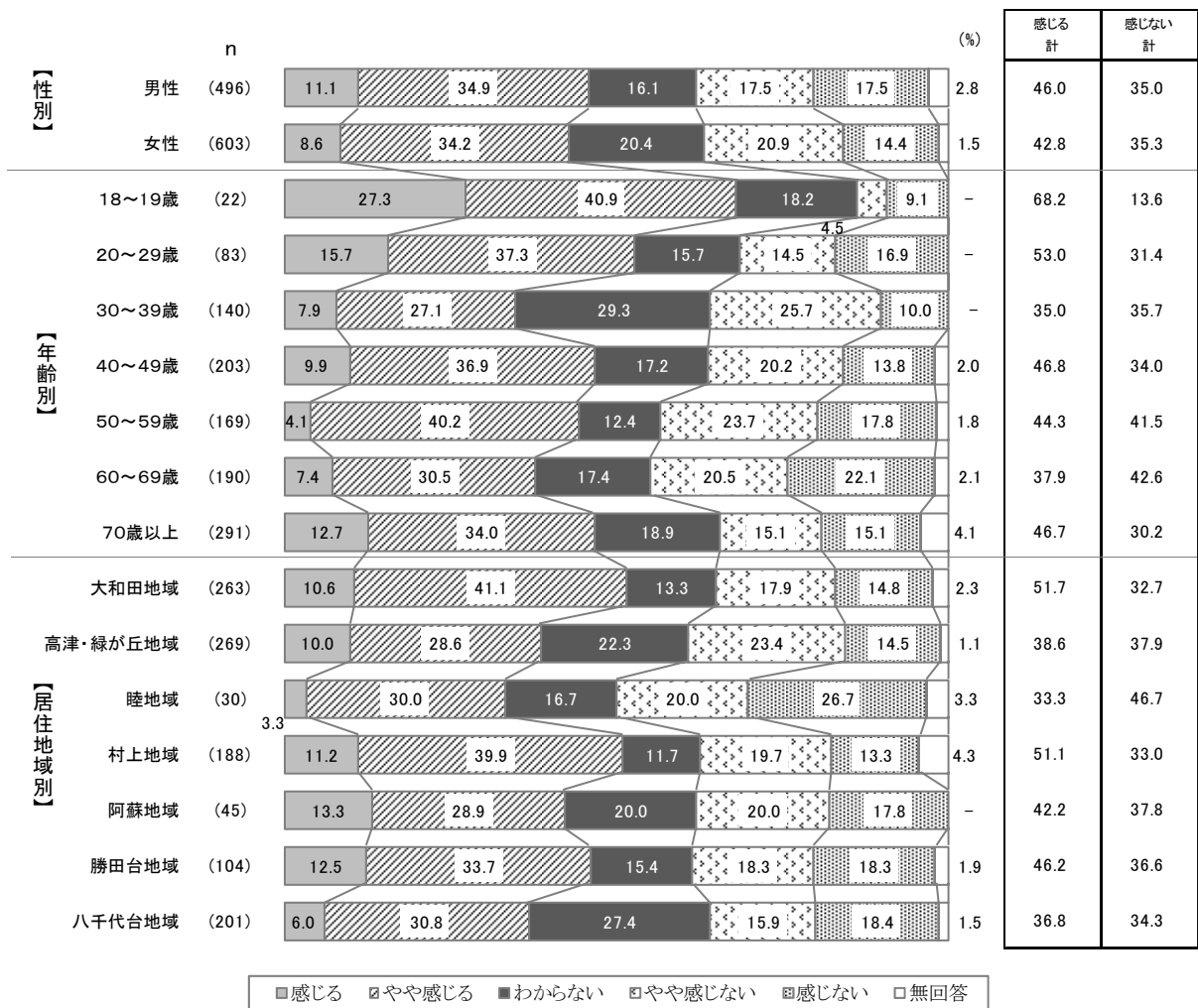
平成31年度末までの目標値44.0%に対して、平成29年度の実績値は44.4%であり、今回調査の達成率は100.1%となっています。

[第2章 調査結果の分析]

性別にみると、＜感じる 計＞の割合は男性（46.0％）が女性（42.8％）を3.2ポイント上回っています。

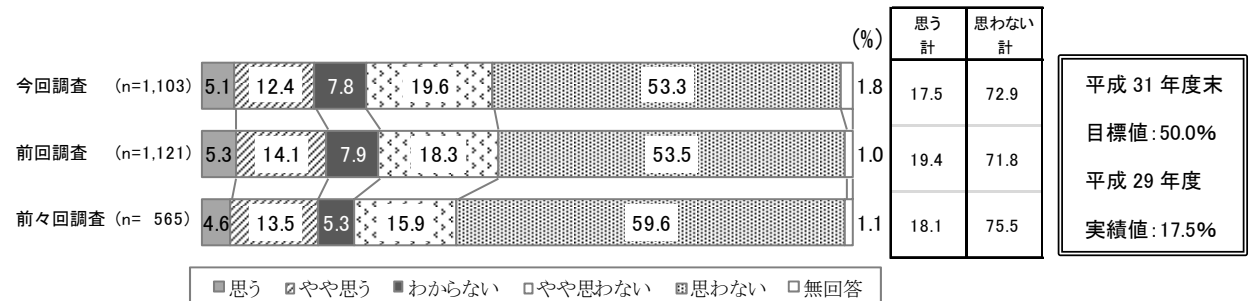
年齢別にみると、＜感じる 計＞の割合は18～19歳、20～29歳で半数以上と多くなっています。
 居住地域別にみると、＜感じる 計＞の割合は大和田地域、村上地域で半数以上と多くなっています。

■性別/年齢別/居住地域別



(4) 「地域活動」について

問8 地域には、自治会などの活動をはじめ、老人クラブや地域ボランティアなどの様々な活動がありますが、あなたは積極的に地域活動に参加していると思いますか？



積極的に地域活動に参加していると思うかについては、「思う」(5.1%)、「やや思う」(12.4%)を合わせた<思う 計>は17.5%となっています。

前回調査と比較してみると、<思う 計>は前回調査より1.9ポイント減少しています。

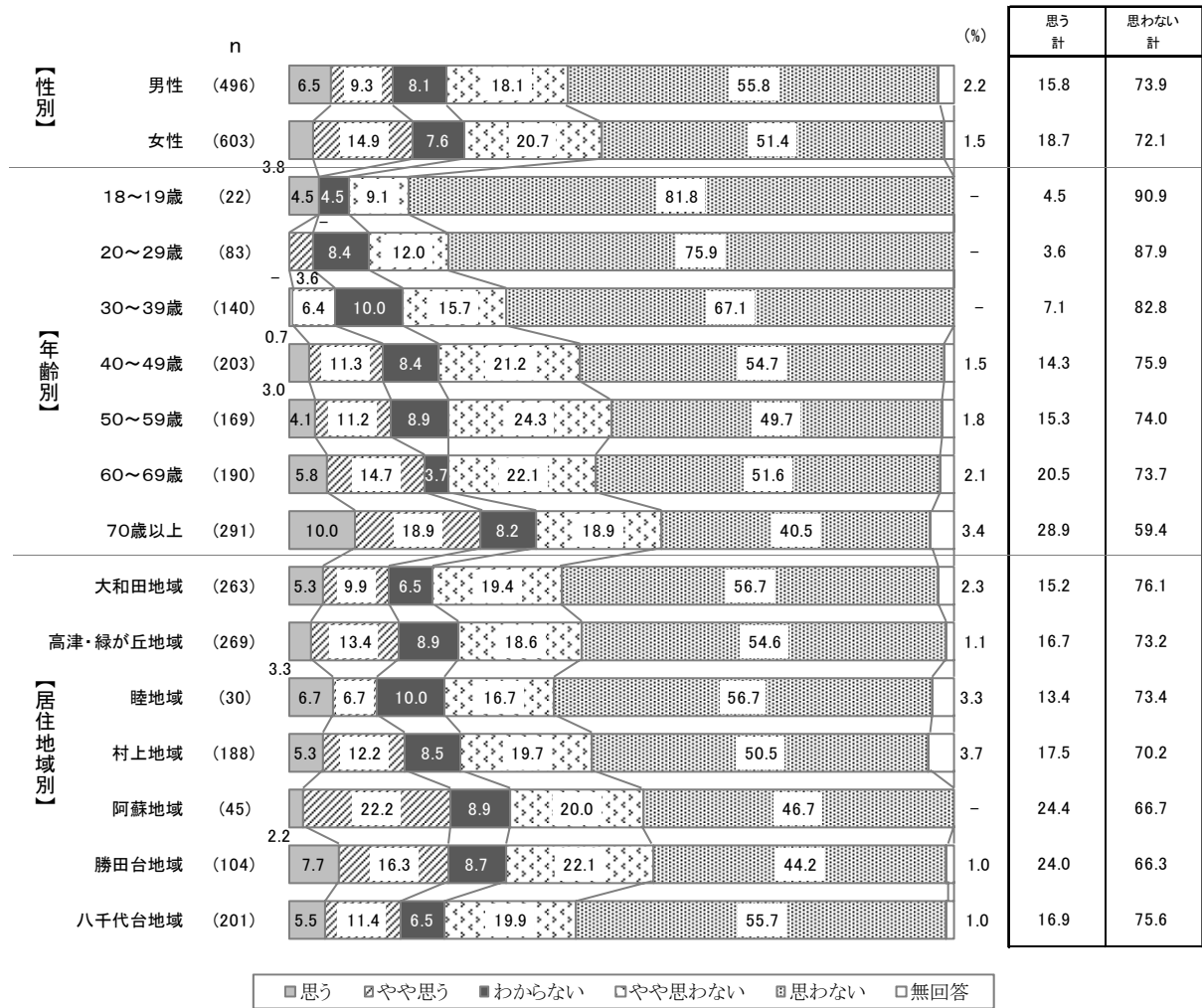
平成31年度末までの目標値50.0%に対して、平成29年度の実績値は17.5%であり、今回調査の達成率は35.0%となっています。

[第2章 調査結果の分析]

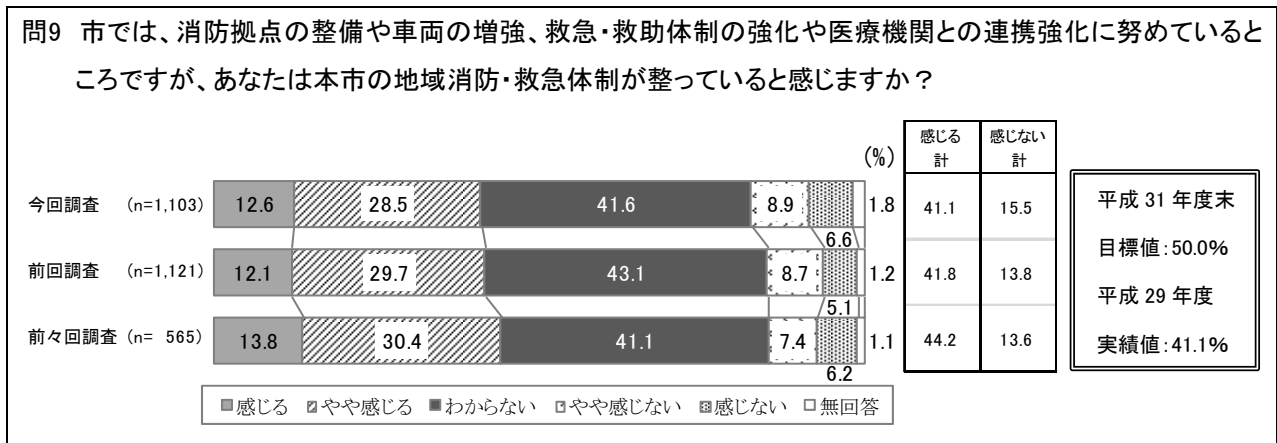
性別にみると、〈思う 計〉の割合は女性（18.7%）が男性（15.8%）を2.9ポイント上回っています。年齢別にみると、〈思う 計〉の割合は年齢が上がるにつれて増加する傾向にあり、70歳以上では約3割となっています。

居住地域別にみると、〈思う 計〉の割合は阿蘇地域、勝田台地域で2割台半ばと多くなっています。

■性別/年齢別/居住地域別



(5) 「地域消防・救急体制」について



本市の地域消防・救急体制が整っていると感じるかについては、「感じる」(12.6%)と「やや感じる」(28.5%)を合わせた<感じる 計>が41.1%となっています。一方、「わからない」も41.6%と多くなっています。

前回調査と比較してみると、<感じる 計>は前回調査(41.8%)とほぼ変化はありません。平成31年度末までの目標値50.0%に対して、平成29年度の実績値は41.1%であり、今回調査の達成率は82.2%となっています。

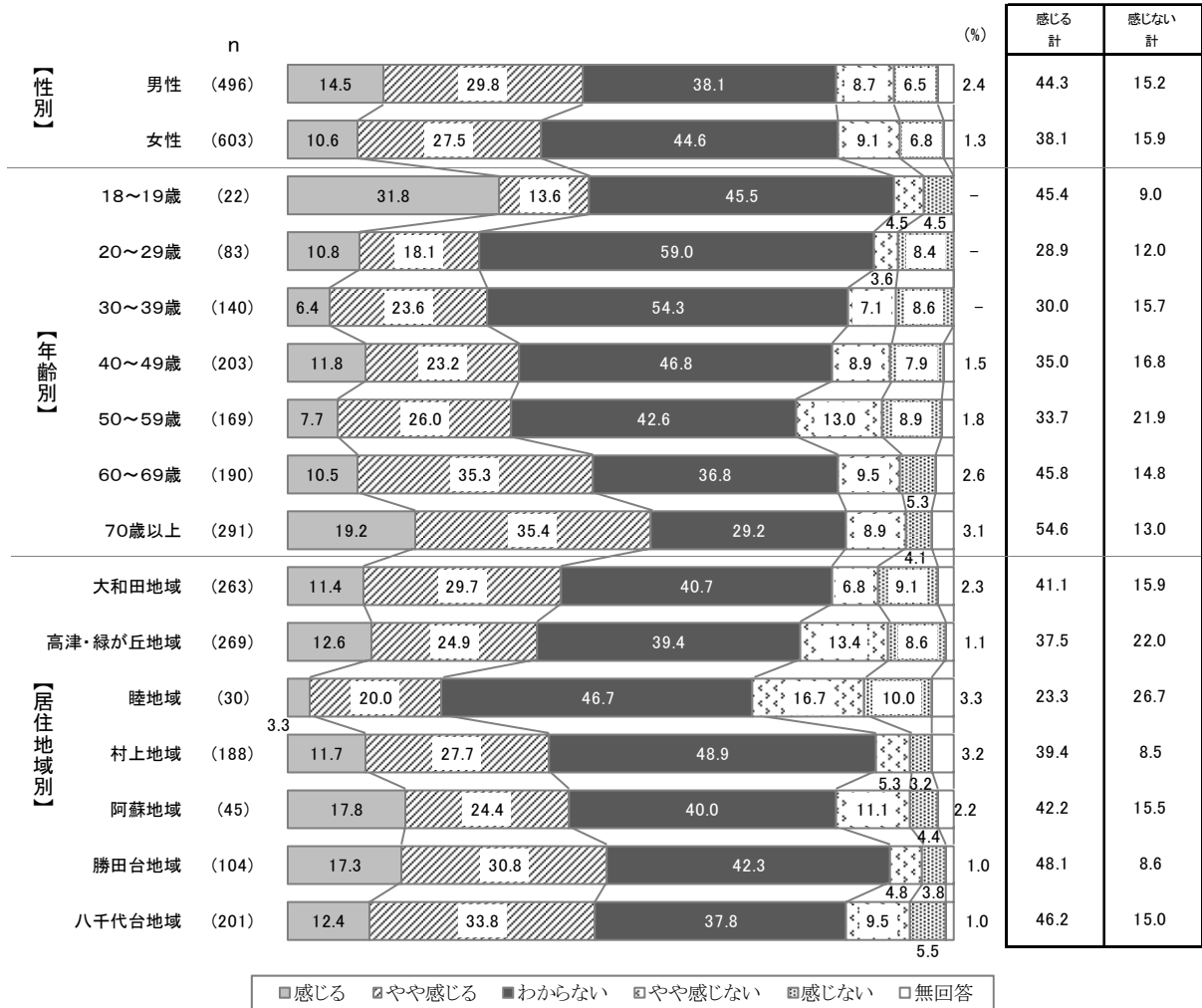
[第2章 調査結果の分析]

性別にみると、＜感じる 計＞の割合は男性（44.3%）が女性（38.1%）を6.2ポイント上回っています。

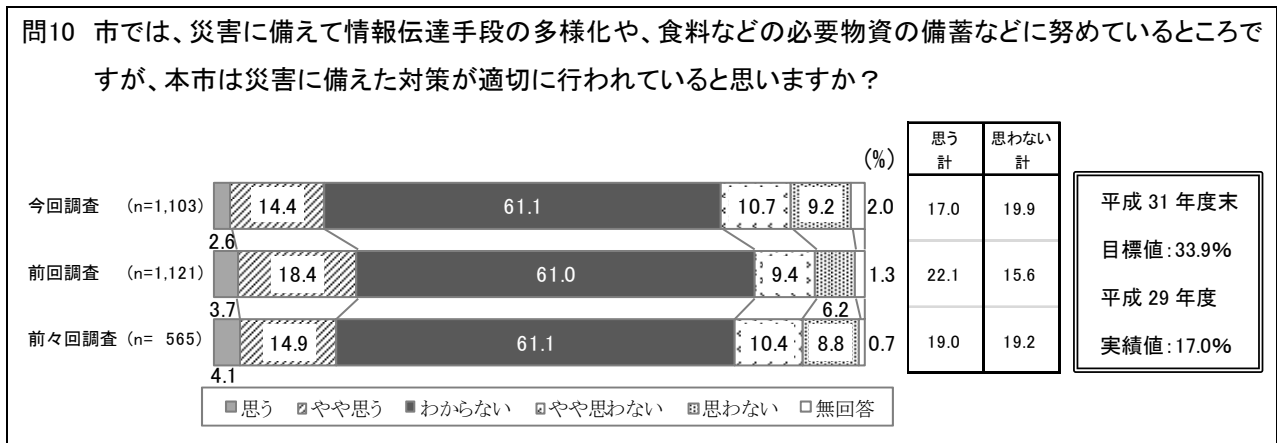
年齢別にみると、＜感じる 計＞の割合は70歳以上で5割台半ばと最も多くなっています。

居住地域別にみると、＜感じる 計＞の割合は勝田台地域で約5割と最も多くなっています。一方で村上地域、睦地域で「わからない」が4割台半ば～約5割と多くなっています。

■性別/年齢別/居住地域別



(6) 「災害に備えた対策」について



本市は災害に備えた対策が適切に行われていると思うかについては、「思う」(2.6%)と「やや思う」(14.4%)を合わせた<思う 計>(17.0%)が「やや思わない」(10.7%)と「思わない」(9.2%)を合わせた<思わない 計>(19.9%)を2.9ポイント下回っています。また、「わからない」も61.1%と多くなっています。

前回調査と比較してみると、<思う 計>は前回調査より5.1ポイント減少しています。平成31年度末までの目標値33.9%に対して、平成29年度の実績値は17.0%であり、今回調査の達成率は50.1%となっています。

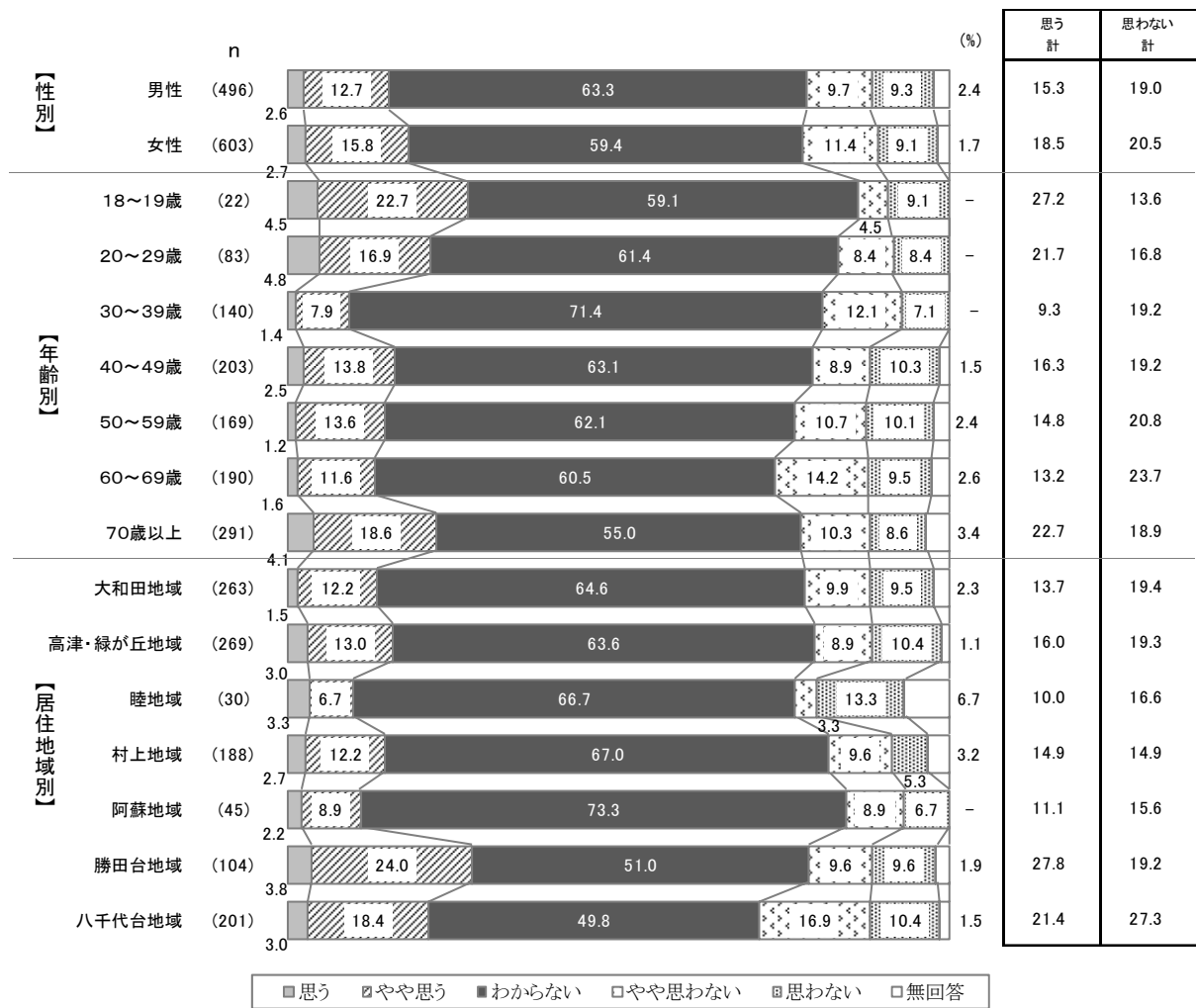
[第2章 調査結果の分析]

性別にみると、〈思う 計〉の割合は女性（18.5%）が男性（15.3%）を3.2ポイント上回っています。

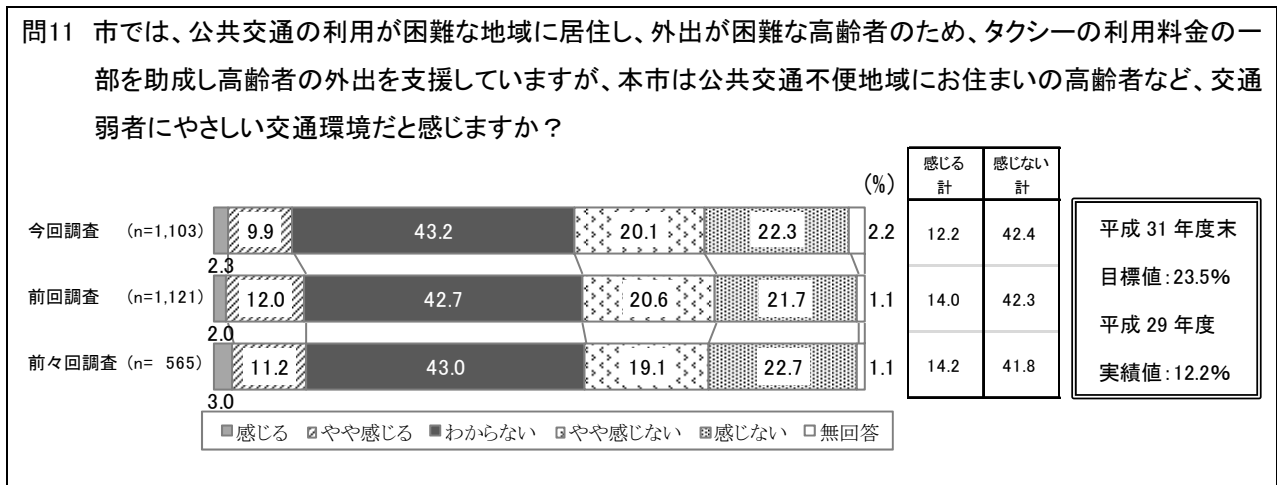
年齢別にみると、〈思う 計〉の割合は18～19歳、20～29歳、70歳以上で2割以上と多くなっています。一方で「わからない」の割合は30～39歳で7割を超え最も多くなっています。

居住地域別にみると、〈思う 計〉の割合は勝田台地域で約3割と多くなっています。また八千代台地域では〈思う 計〉の割合が2割を超えているものの、〈思わない 計〉の割合も約3割と多くなっています。

■性別/年齢別/居住地域別



(7) 「公共交通不便地域における高齢者の移動」について



本市は交通弱者にやさしい交通環境だと感じるかについては、「やや感じない」(20.1%)と「感じない」(22.3%)を合わせた<感じない 計>が 42.4%となっています。一方、「わからない」は 43.2%と多くなっています。

前回調査と比較してみると、<感じる 計>は前回調査より 1.8 ポイント減少しています。平成 31 年度末までの目標値 23.5%に対して、平成 29 年度の実績は 12.2%であり、今回調査の達成率は 51.9%となっています。

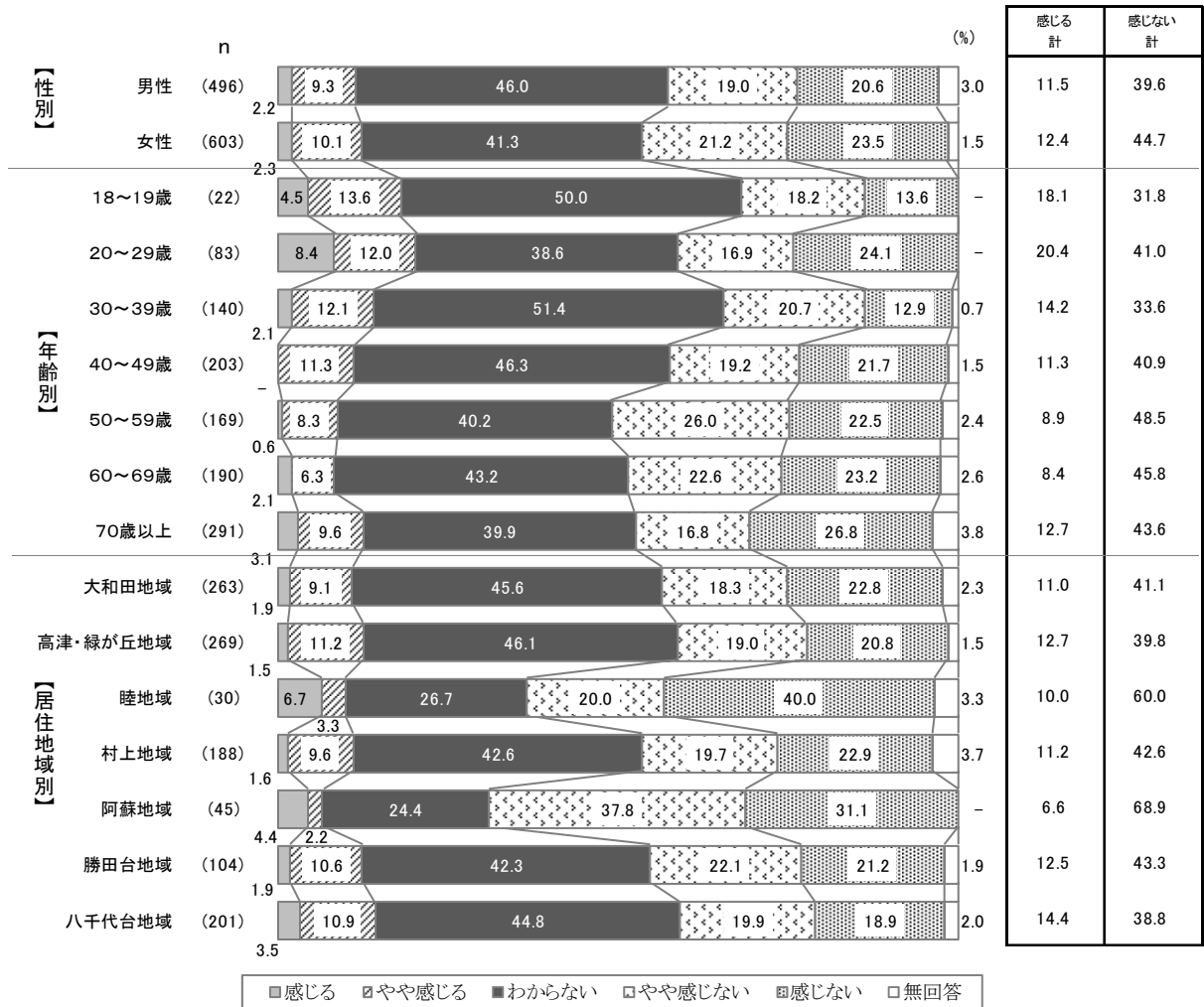
[第2章 調査結果の分析]

性別にみると、＜感じない 計＞の割合は女性（44.7%）が男性（39.6%）を5.1ポイント上回っています。

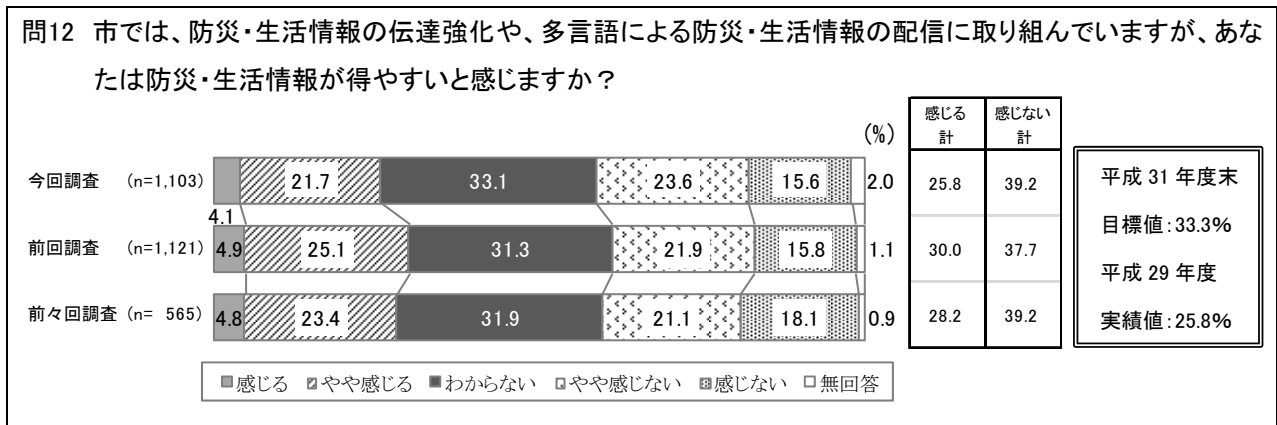
年齢別にみると、＜感じない 計＞の割合は50～59歳で約5割と最も多くなっています。

居住地域別にみると、＜感じない 計＞の割合は阿蘇地域で約7割、睦地域で6割と多くなっています。

■性別/年齢別/居住地域別



(8) 「防災・生活情報の得やすさ」について



生活・防災情報が得やすいと感じるかについては、「やや感じない」(23.6%)と「感じない」(15.6%)を合わせた<感じない 計>が39.2%、「感じる」(4.1%)と「やや感じる」(21.7%)を合わせた<感じる 計>が25.8%となっています。一方、「わからない」は33.1%となっています。

前回調査と比較してみると、<感じる 計>は前回調査より4.2ポイント減少しています。平成31年度末までの目標値33.3%に対して、平成29年度の実績値は25.8%であり、今回調査の達成率は77.5%となっています。

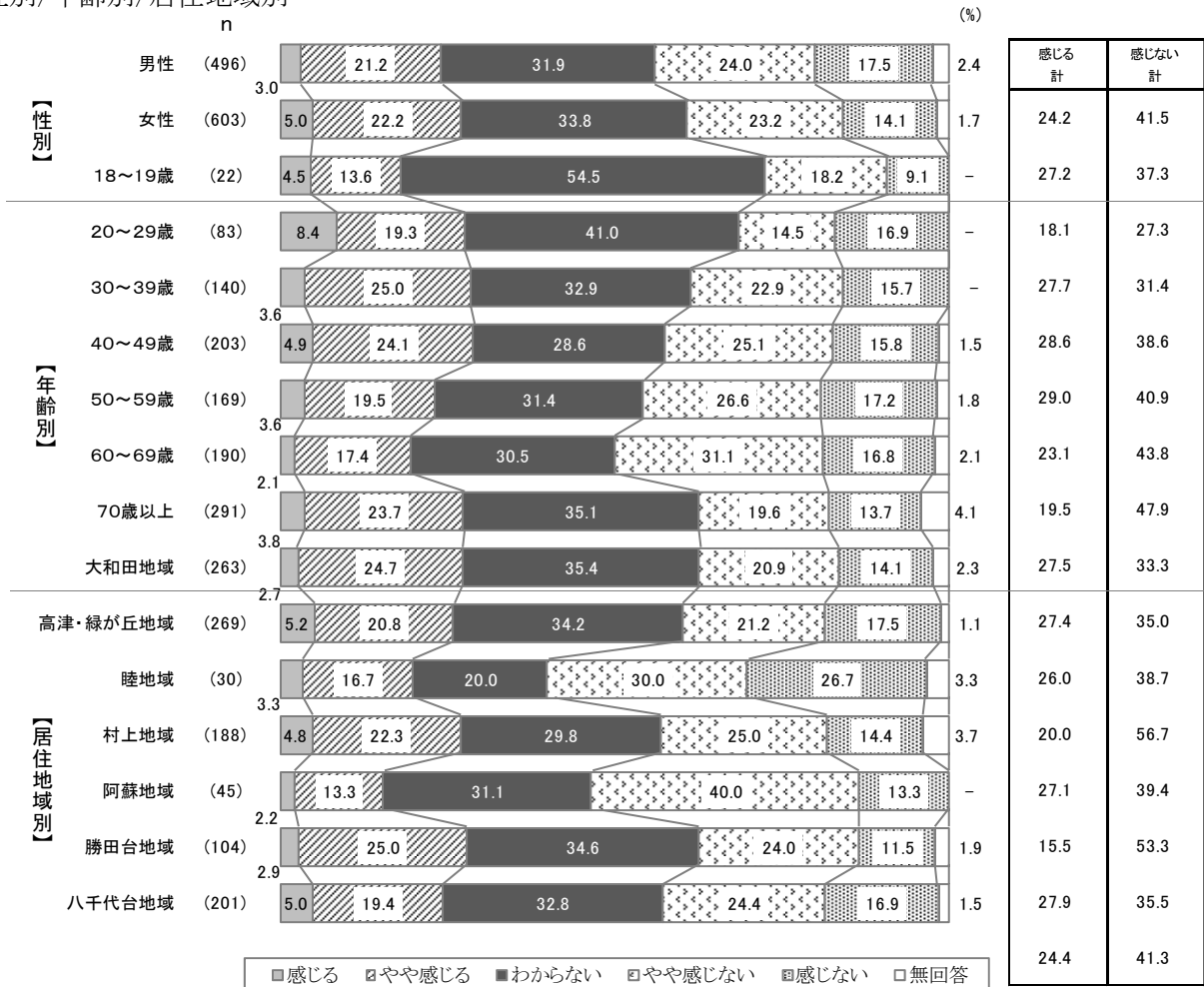
[第2章 調査結果の分析]

性別にみると、＜感じる 計＞の割合は女性（27.2%）が男性（24.2%）を3.0ポイント上回っています。

年齢別にみると、＜感じない 計＞の割合は60～69歳で約5割と最も多くなっています。

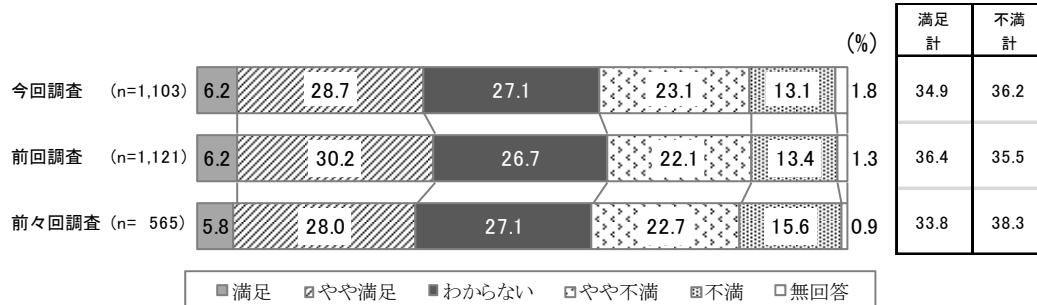
居住地域別にみると、＜感じない 計＞の割合は睦地域、阿蘇地域で5割台半ばと多くなっています。

■性別/年齢別/居住地域別



(9) 公共施設のサービス、設備や管理・運営に関する満足度について

問13 市内には、市民会館・図書館をはじめ多くの公共施設がありますが、あなたは公共施設の提供するサービス、設備や管理・運営に満足していますか？



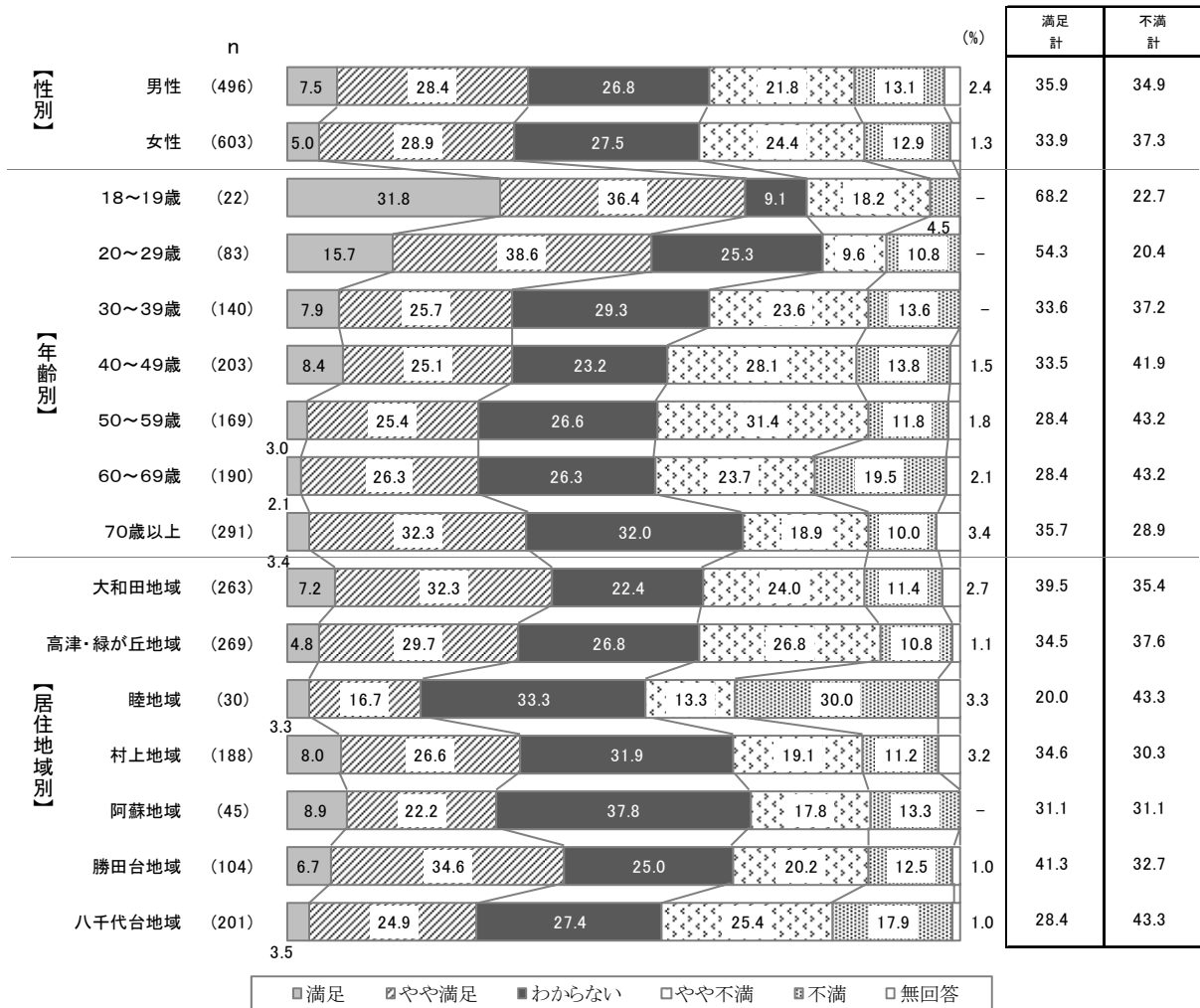
公共施設の提供するサービス、設備や管理・運営に満足しているかについては、「満足」(6.2%)と「やや満足」(28.7%)を合わせた<満足 計>が34.9%、「やや不満」(23.1%)と「不満」(13.1%)を合わせた<不満 計>が36.2%となっています。

前回調査と比較してみると、<満足 計>は前回調査より1.5ポイント減少しています。

[第2章 調査結果の分析]

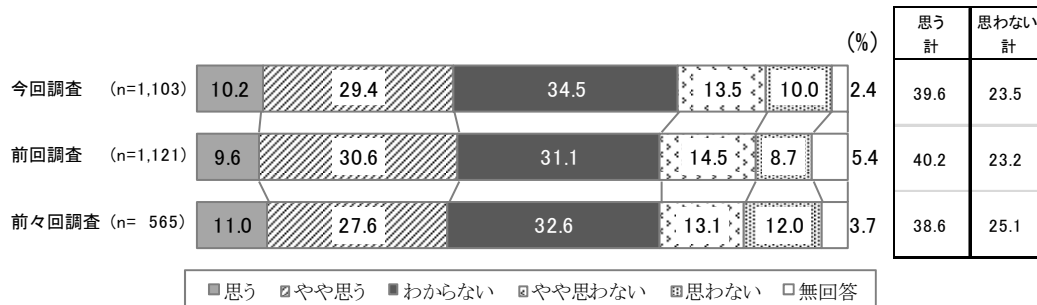
性別にみると、＜満足 計＞の割合は男性（35.9%）が女性（33.9%）を2.0ポイント上回っています。年齢別にみると、＜満足 計＞の割合は18～19歳で約7割、20～29歳で5割半ばと多くなっています。一方、＜不満 計＞の割合は40～49歳、50～59歳、60～69歳で4割以上と多くなっています。居住地域別にみると、＜不満 計＞の割合は八千代台地域と睦地域で4割台半ばと多く、＜満足 計＞の割合を大きく上回っています。

■性別/年齢別/居住地域別



(10) 「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について

問14 平成28年3月に策定した「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」には、問5から問13までの設問に関連する事業が含まれています。本市の将来の人口減少抑制を目標としていますが、あなたはこの総合戦略を実施することが、人口減少の抑制に効果があると思いますか？



総合戦略を実施することが、人口減少の抑制に効果があると思うかについては、「思う」(10.2%)と「やや思う」(29.4%)を合わせた<思う 計>が39.6%、「やや思わない」(13.5%)と「思わない」(10.0%)を合わせた<思わない 計>が23.5%となっています。一方、「わからない」は34.5%となっています。

前回調査と比較してみると、<思う 計>は前回調査(40.2%)とほぼ変化はありません。

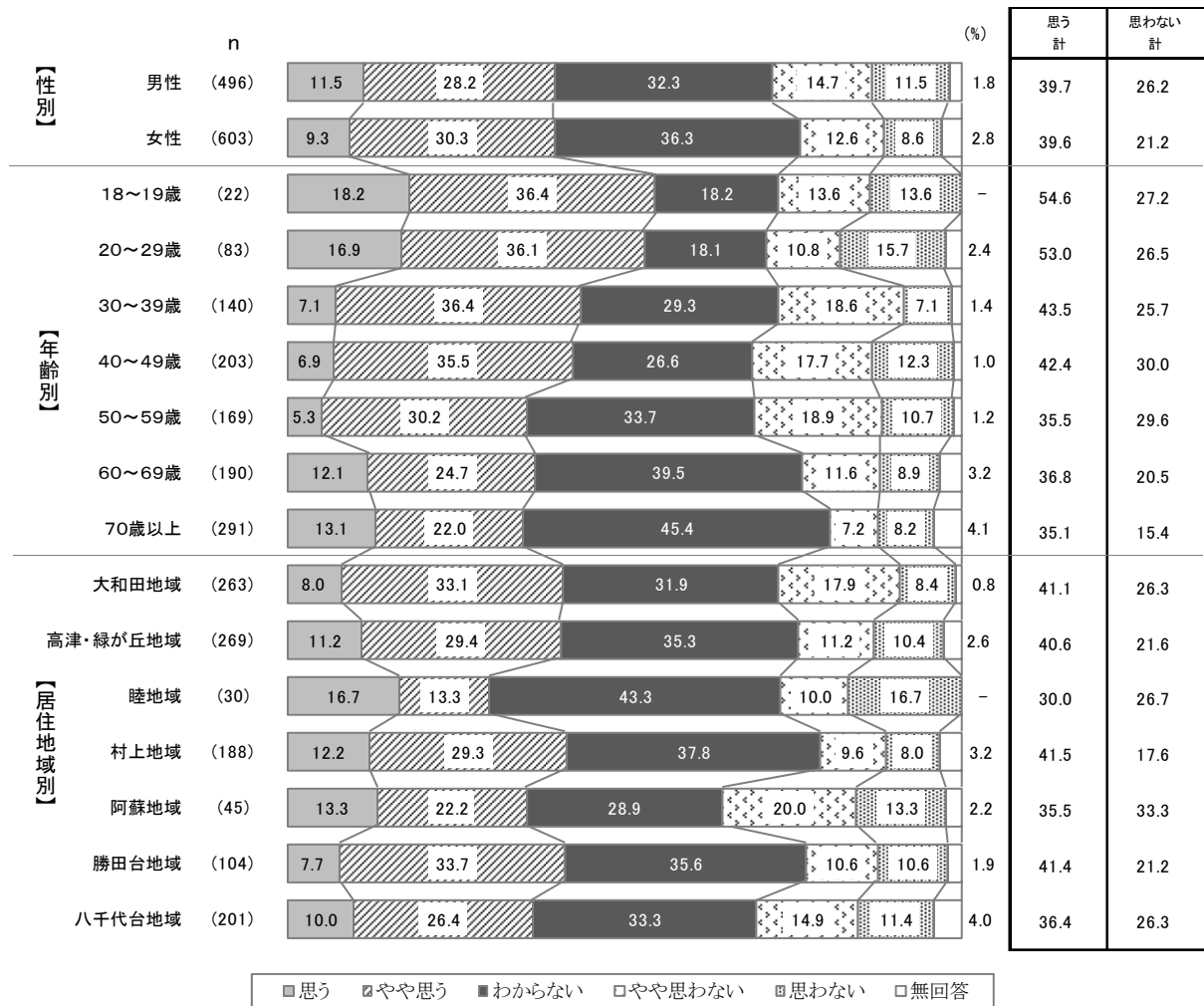
[第2章 調査結果の分析]

性別にみると、〈思わない 計〉の割合は男性（26.2%）が女性（21.2%）を5.0ポイント上回っています。

年齢別にみると、〈思う 計〉の割合は年齢が下がるにつれて増加する傾向にあり、29歳以下では5割台半ばと多くなっています。

居住地域別にみると、〈思わない 計〉の割合は村上地域で17.6%と少なくなっています。

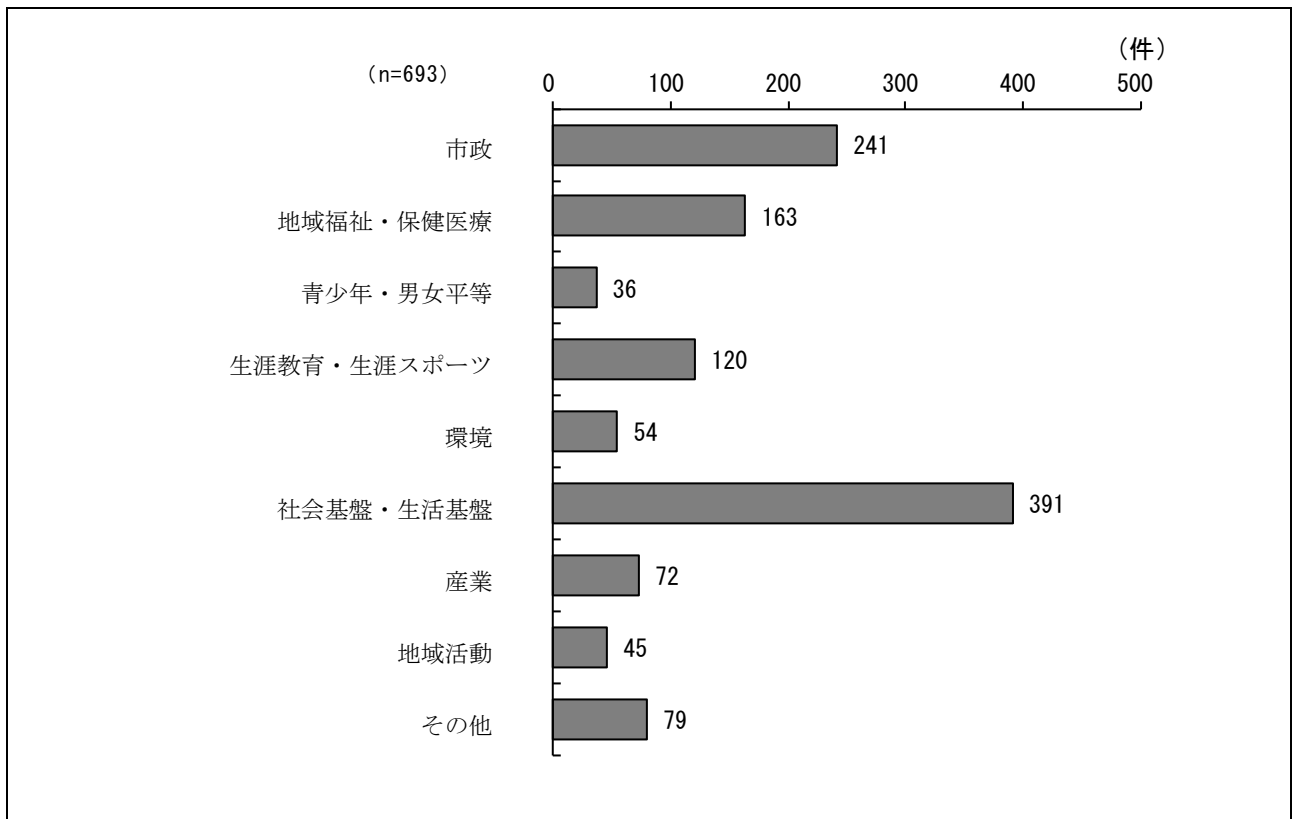
■性別/年齢別/居住地域別



(11) 八千代市へのご意見・ご要望

問15 今後のまちづくりについて、市へのご意見やご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

八千代市へのご意見・ご要望については、693名の方から述べ1,201件の内容をいただきました。下記は主な内容と件数になります。



第3章 調査票

八千代市まち・ひと・しごと創生に関する市民満足度調査

市民の皆様には、日頃より市政に対しましてご理解、ご協力を賜りお礼申し上げます。

このたび、将来の人口減少対策として平成27年度から31年度までの市が重点的に取り組むべき政策目標・施策を示す「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の重要業績評価指標の達成状況（満足度）を把握するための調査を実施することといたしました。

調査票は、市内にお住まいの18歳以上の方3,000人を抽出して送付しております。抽出は、実際の年齢、性別、地域の人口割合に近い値で行っています。

お答えいただきました調査結果は市ホームページ等で公表しますが、設問は市に対する印象等に関するものが主であり、個人の特定につながるものではありません。

ご回答のために貴重なお時間をいただくことになり、まことに恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、「八千代市人口ビジョン」及び「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の内容につきましては、別添の概要版及び八千代市のホームページをご覧ください。

平成30年1月

八千代市長 服部友則

- 1 この調査は、できるだけ宛名の方ご本人がご記入ください。
- 2 この調査は無記名です。名前・住所を書いていただく必要はありません。
- 3 各設問の該当する選択肢の番号に○を付けてください。
- 4 調査の結果は、市のホームページなどで公表いたします。
- 5 ご記入いただきました調査票は、
平成30年2月8日（木曜日）までに、
同封した返信用封筒（切手不要）に入れて投函してください。
- 6 調査の内容等について、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

（問合せ先） ■八千代市 総務企画部 総合企画課 企画政策班
〒276-8501 千葉県八千代市大和田新田 312-5
電話 (047) 483 -1151 内線 2332・2333

八千代市まち・ひと・しごと創生に関する市民満足度調査

あなたご自身のことについておたずねします。

【問1】あなたの性別は、次のどちらですか？

1	男	2	女
---	---	---	---

【問2】あなたの年齢は、次のうちどれですか？

1	18 ～ 19 歳	5	50 ～ 59 歳
2	20 ～ 29 歳	6	60 ～ 69 歳
3	30 ～ 39 歳	7	70 歳以上
4	40 ～ 49 歳		

【問3】あなたの職業は、次のうちどれですか？

1	会社員	5	専業主婦または主夫
2	自営業	6	学生
3	農業	7	無職
4	公務員	8	その他（ ）

【問4】あなたのお住まいは、次のうちどこですか？

	地域	該当町丁目・街区
1	大和田地区	大和田・萱田・萱田町
2	ゆりのき台地区	ゆりのき台1丁目～8丁目
3	大和田新田(A)地区	大和田新田下区等、萱田中学校又は大和田中学校の学区の範囲内にある大和田新田地域
4	大和田新田(B)地区	大和田新田上区、高津中学校、東高津中学校又は睦中学校の学区の範囲内にある大和田新田地域
5	高津・緑が丘地区	高津・高津東1丁目～4丁目・緑が丘1丁目～5丁目 緑が丘西1丁目～8丁目
6	八千代台東南地区	八千代台東1丁目～6丁目・南1丁目～3丁目
7	八千代台西北地区	八千代台西1丁目～10丁目・北1丁目～17丁目
8	勝田台地区	勝田台1丁目～7丁目・勝田・勝田台南1丁目～3丁目
9	村上地区	村上・村上南1丁目～5丁目・下市場1丁目～2丁目・ 上高野・勝田台北1丁目～3丁目
10	阿蘇地区	米本・神野・保品・下高野・堀の内
11	睦地区	桑納・麦丸・桑橋・吉橋・島田・神久保・小池・真木野・ 佐山・平戸・島田台・尾崎・大学町1丁目～6丁目
12	米本団地地区	米本団地1街区～5街区
13	高津団地地区	高津団地1街区～7街区
14	村上団地地区	村上団地1街区～3街区

八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

八千代市では、将来の人口減少対策として今後市が重点的に取り組むべき政策目標・施策を掲げる「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成28年3月に策定しました。

次の設問から、「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に関連する設問となります。

【問5】「八千代市のイメージ」についてお尋ねします。

本市は、都心から30 km圏に位置し、東京のベッドタウンとして発展してきました。

また、新川を中心に広大な田園が広がるなど、豊かな自然も残されています。あなたは本市のイメージは良いと思いますか？

1 思う	2 やや思う	3 わからない	4 やや思わない	5 思わない
------	--------	---------	----------	--------

【問6】「八千代市の活性化」についてお尋ねします。

まちの活性化のためには、「地域コミュニティの活性化」、「地域の産業の活性化」、「地域の観光の活性化」などが必要ですが、本市は現在、まちが活性化していると感じますか？

1 感じる	2 やや感じる	3 わからない	4 やや感じない	5 感じない
-------	---------	---------	----------	--------

【問7】「新川周辺の活性化」についてお尋ねします。

市のシンボリック存在の新川の周辺には、やちよふれあいの農業の郷、中央図書館・市民ギャラリーや総合グラウンドなどがあり、また、夏には八千代ふるさと親子祭が開催されるなど、イベントにも活用されています。あなたは新川周辺が活性化していると感じますか？

1 感じる	2 やや感じる	3 わからない	4 やや感じない	5 感じない
-------	---------	---------	----------	--------

【問8】「地域活動」についてお尋ねします。

地域には、自治会などの活動をはじめ、老人クラブや地域ボランティアなどの様々な活動がありますが、あなたは積極的に地域活動に参加していると思いますか？

1 思う	2 やや思う	3 わからない	4 やや思わない	5 思わない
------	--------	---------	----------	--------

【問9】「地域消防・救急体制」についてお尋ねします。

市では、消防拠点の整備や車両の増強、救急・救助体制の強化や医療機関との連携強化に努めているところですが、あなたは本市の地域消防・救急体制が整っていると感じますか？

1 感じる	2 やや感じる	3 わからない	4 やや感じない	5 感じない
-------	---------	---------	----------	--------

【問10】「災害に備えた対策」についてお尋ねします。

市では、災害に備えて情報伝達手段の多様化や、食料などの必要物資の備蓄などに努めているところですが、本市は災害に備えた対策が適切に行われていると思いますか？

1 思う	2 やや思う	3 わからない	4 やや思わない	5 思わない
------	--------	---------	----------	--------

【問11】「公共交通不便地域における高齢者の移動」についてお尋ねします。

市では、公共交通の利用が困難な地域に居住し、外出が困難な高齢者のため、タクシーの利用料金の一部を助成し高齢者の外出を支援していますが、本市は公共交通不便地域にお住まいの高齢者など、交通弱者にやさしい交通環境だと感じますか？

1 感じる	2 やや感じる	3 わからない	4 やや感じない	5 感じない
-------	---------	---------	----------	--------

【問12】「防災・生活情報の得やすさ」についてお尋ねします。

市では、防災・生活情報の伝達強化や、多言語による防災・生活情報の配信に取り組んでいます。あなたは防災・生活情報が得やすいと感じますか？

1 感じる	2 やや感じる	3 わからない	4 やや感じない	5 感じない
-------	---------	---------	----------	--------

【問13】公共施設のサービス、設備や管理・運営に関する満足度についてお尋ねします。

市内には、市民会館・図書館をはじめ多くの公共施設がありますが、あなたは公共施設の提供するサービス、設備や管理・運営に満足していますか？

1 満足	2 やや満足	3 わからない	4 やや不満	5 不満
------	--------	---------	--------	------

【問14】「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」についてお尋ねします。

平成28年3月に策定した「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」には、問5から問13までの設問に関連する事業が含まれています。本市の将来の人口減少抑制を目標としていますが、あなたはこの総合戦略を実施することが、人口減少の抑制に効果があると思いますか？

1 思う	2 やや思う	3 わからない	4 やや思わない	5 思わない
------	--------	---------	----------	--------

【問15】今後のまちづくりについて、市へのご意見やご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

～アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。～

ご記入いただいた調査票は、そのまま同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、

2月8日（木）までに郵便ポストへ投函してください。

【問合せ先】

八千代市 総務企画部 総合企画課 企画政策班

電話 047-483-1151 内線 2332・2333



やっち